

# あこう館のたより

4月

発行責任者  
校長 堤 敏博

【校長室より】

## 「自主性」と「主体性」



平成31年度が始まりもうすぐ1ヶ月が経とうとしています。本年度は12名の教職員と、151名の新入生を迎え新年度がスタートしました。教職員一同、新たな気持ちで五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

ところで、昨年度1年間、全校集会などで「自ら考え、自分の意志で行動できる人になって欲しい」という話をしてきました。今年度も、主体性を持った五高生であって欲しいと思っています。そこで、昨年度、全校集会で話をした「自主性と主体性」について、その内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

自分の意志で行動することを表す言葉に、「自主性」と「主体性」という言葉があります。その二つの言葉の意味の違いを一言で表すならば、「やるべき目的が決まっていることを、（それほど頭を使うことなく）人にいわれなくても実行しようとするのが自主性」で、「やるべき目的が決まっていない状態で、何をなすべきか、頭を最大限に働かせながら（判断して）行動を起こすのが主体性」だそうです。つまり、大きな違いは、目的がすでに決まっているのか、目的を自分で作り出すのかという点にあります。

例えば、「教室は綺麗にしておくようにいわれているから、催促される前に掃除をしよう」と考え行動するのは自主性です。一方、「教室を綺麗にしておけば、みんなが気持ちよく生活できるし、先生の授業も、より意欲が出て、さらにわかりやすく教えてもらえるかもしれない。だから掃除をしておこう」と考え行動するのが主体性だと思います。

勉強に置き換えてみると、「日頃から勉強は大事だと先生から言われているから勉強に取り組もう」と考え行動に移すのが自主性で、「自分は、将来、五島の活性化のために何かをしたい。そのためには、多くの知識を得ることで視野を広げ、多くの発想が生まれるようにしておいたがよい。だから勉強は必要だ」と考え行動に移すのが主体性と言えるのかもしれませんが、このように考えると、自主性より主体性のほうが、身につけるのが難しいと思います。

では、この主体性を身につけるためにはどうすればいいのでしょうか。それは、とにかくミスや失敗を恐れることなく、何事にもチャレンジしていく姿勢を持つことが大切だそうです。最初は誰かのまねでも問題はありません。というか、最初は誰かのまねをすることから始まるのかもしれませんが。

「守破離」という言葉があります。まずは、徹底的に師匠の教えを守り師匠の型を自分のものにする（守）。その後、自分らしさを取り入れながら（破）、最終的には他人のまねではない自分の型を作っていく（離）という意味だと思います。

自分の型を作るためには、師匠のまねをして師匠の型を身につけることから始まる、つまり先生方から教えてもらうことを徹底的に身につけることから始まるのです。それが基盤となって、自分の型に作り変え、主体性にも結びついていくと思います。だから、先生方から教えてもらうことを大切にしたいと思います。

これから、学校生活でも、私生活でも、目的が最初からあって自ら行動に移す「自主性」と、目的を自分で作り出して自ら行動に移す「主体性」というキーワードを頭において行動してみてください。

## ～入学式～ 4月8日(月)

4月8日(月)の晴れの日に入學式が行われました。普通科129名、衛生看護科22名が入學を許可されました。151名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。五島高校は皆さんを心より歓迎します。皆さんもチーム五高の一員です。すばらしい高校生活を送れるように、職員・生徒一丸となり頑張っていきましょう。



### ようこそ五島高校へ！ 新転任の先生方のご紹介

辻 俊郎 教頭先生 (数学)  
 糸山 菊乃 先生 (国語)  
 森下 史也 先生 (数学)  
 平野 秀一 先生 (数学)  
 中條 敏宏 先生 (芸術)  
 奥野 美雪 先生 (英語)  
 岩永 純 先生 (英語)

小川 美優 先生 (英語)  
 金城 武 先生 (看護)  
 北田 綾乃 先生 (看護)  
 櫻井 紘子 先生 (養護)  
 森 量子 先生 (事務)



### 新生活に向けて ～入寮式～



4月8日(月)本校メモリアルホールにおいて、入寮式が行われました。今年度は男子8名、女子7名、計15名が入寮しました。式では校長先生から激励のお言葉をいただいた後、入寮生を代表して1年5組の奈良崎李沙さんが誓いのことばを宣誓してくれました。

親元を離れての生活は、心細いこともあると思いますが、寮生全員で助け合いながら充実した生活を送って下さい。職員一同期待しています。

### 普通科71回生・衛生看護科44回生 結果総括(進路指導部)

### 頑張った、卒業生！

- ① 国公立大学合格者数96名(昨年度71名)
- ② 国公立大学合格率71.1%  
(昨年度59.2%)
- ③ 難関大合格者数6名  
(九州大学5名、長崎大学医学部医学科1名)
- ④ スポーツコース：早稲田大学、法政大学、  
日本体育大学、長崎大学、  
鹿屋体育大学、各種大学・  
専門学校へ進学
- ⑤ 衛生看護科：准看護師資格試験合格率100%

※合格者数は現役生のための延べ人数

「本物になる」をスローガンに進路実現のため、最後までよく頑張りました。学校全体で見ると、非常によく頑張った結果となり、特に国公立大学合格率に関してはほぼ70%を越え、かつてない素晴らしい結果となりました。それ以外でも、それぞれが個々の進路実現に向かって粘り強く取り組む姿勢が多く見られました。早期に進路が決定した生徒も、まだ決まっていないクラスメイトのために、率先して学習に取り組んでいました。他者を思いやる心優しい生徒が多く、学習に、部活動に、行事に何事も全力で取り組んだため、五高の良き伝統を後輩に継承できたと思います。それぞれの進路へ飛び立った卒業生の更なる活躍に期待したいと思います。

### PTA総会のご案内 ～5月11日(土)～

PTA総会・学年PTA・学級懇談会を5月11日(土)に開催します。普段見る機会のない生徒たちの授業での様子や、真剣に学習に取り組む姿をぜひご覧ください。多数の保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

## 各学年より

## 多様性の中で自己刷新

1学年主任 原口正志

第1学年のみなさん、五島高校への入学おめでとう！みなさんの入学を心から歓迎いたします。

さて、4月8日に入学して以来、課題テスト、対面式、スタディサポート、そして諫早少年自然の家での2泊3日の宿泊研修、部活動入部等々と、本当に慌ただしい日々が続いています。その中で君たちの成長を最も感じる事ができたのは、宿泊研修です。素直さと変化のスピードに驚かされました。多様な他者と関わり、時に感化され、時に傷つき、時に喜び合って自分というものを認識していく場がこの五島高校です。君たちは一人ではありません。今後の君たちのさらなる成長、自己刷新を期待します。

## 五島の大地に帆をあげて

2学年主任 本多 優子

五島高校に赴任して以来、当たり前ですが船に乗ることが多くなりました。先月長崎から福江までフェリーで帰っている時、大きく揺れる船内で私の頭に浮かんだのは大航海時代に活躍した人々、自分たちの地にはない新しい発見を求めて進んでいった勇者たちです。

新時代を逞しく生き抜くべき若き勇者たち。さあ、自分自身の帆を揚げよう。まだ弱々しくてもいい。大海原の遙かなる未来へ知恵というエンジンを載せて進んでいこう。ただ闇雲に進むのではなく、風を讀みながら。君たちの頑張りを期待します。

## 「向き合う」

3学年主任 渡辺 洋平

将来と向き合う。勉強と向き合う。結果と向き合う。苦手と向き合う。部活と向き合う。両親と向き合う。先生と向き合う。友人と向き合う。後輩と向き合う。そして、自分と向き合う。

いよいよ勝負の年。自分自身としっかり向き合って、最後の一瞬まで戦ってください。我々教員団も、全力でサポートします。

保護者の皆様、お子さまの指導におきましては、ご家庭との連絡を密にし、一人ひとりとの対話を重視した、きめ細かい指導をしていきたいと考えております。今年度も、よろしく願いいたします。

## 新入生宿泊研修

4月15日(月)～17日(水)の3日間、国立諫早少年自然の家において1学年の宿泊研修が行われました。この3日間で「真の五高生になる」ことを目標に、様々な活動を行いました。3日間、日程にわずかな変更もありましたが、すべてのプログラムに意欲的に取り組むことができました。

この研修の目的は、学年やクラスの融和を深め、五高生としての誇りや自覚を身につけることでした。様々な活動を通して、集団における規律の大切さやクラス毎に協力してひとつのものを作り上げることの素晴らしさを学ぶことができました。この研修で学んだことを日常の中で継続して実践し、この3日間を高校生活の原点として今後の生活に活かしてほしいと思います。

校歌・遠征歌コンクール

優勝 5組  
2位 4組  
3位 1組

集団行動コンテスト

優勝 5組  
2位 1組  
3位 4組

